

敬う心 将棋駒に込め 天童・羽生会長揮毫 モノUMENT 除幕

将棋モノUMENTの除幕を行う羽生善治会長(右から3人目)、山本信治市長(同4人目)ら。天童市・JR天童駅東口広場



天童市が2023年度の市制施行65周年を記念して整備した将棋モノUMENTの除幕式が8日、同市のJR天童駅東口広場で行われた。文字を揮毫した日本将

棋連盟の羽生善治会長が出席し、新たなシンボルの誕生を祝った。市は、将棋を▽つくる▽指す▽魅せる▽の3本柱で、まちづくりを進めてい

る。新モノUMENTは、この「3」に関連付け、将棋駒3枚を組み合わせたデザインにした。高さ275センチ(うち将棋駒の高さは160センチ)、幅350センチ、奥行

き374センチの大きさで御影石製。夜間はライトアップも行われる。

3面全てに羽生会長が揮毫し、各面に「克己復礼」「将棋のまち天童」「王将」の文字が並ぶ。「克己復礼」は「私情や欲望に打ち勝ち、社会の規範や礼儀にかなった行いをする」との意味。将棋は礼に始まり礼に終わると言われ、羽生会長は対局相手への敬意を忘れないようにとの思いで、言葉を選んだ。

除幕式で山本信治市長が「新たなシンボルが市の玄関口に完成した。大変忙しい中、揮毫いただいた羽生会長に感謝する」とあいさつ。羽生会長は「私自身の揮毫が残ることに、やや気恥ずかしさもある。駅に降り立った皆さんが、将棋のまちを訪れたと実感してもらえればうれしい」と述べた。

(落合慶)



動画はここから